

1時間前市場検討状況の報告

2014年11月27日
一般社団法人日本卸電力取引所

日本卸電力取引所では、「第3回制度設計ワーキンググループ」（平成25年10月21日開催）の提案をもとに1時間前市場の開設について検討を行っている。平成28年4月の取引開始を目指し用意しているところである。現在開設している当日市場（4時間前市場）との対比により、1時間前市場の概要を説明する。

	4時間前市場（現行）		1時間前市場
取引の方式	シングルプライス オークション方式	➡	ザラバ方式 「ブロック入札」（複数時間帯の一括約定指定）や、「アイスバークオーダー」（大きい入札を細かく分けて入札）などの入札オプションは設けない（現行と4時間前市場と同じ）。
取引対象	土曜日13時から月曜13時分 は取引出来ない 年末年始・G/Wなどの連休時は取引出来ない 商品がさらに増える。	➡	365日24時間分 全て取引可能
取引時間	決められた時刻に一齐処理 営業日の9時・13時・17時に約定処理を実施。 そのため、実受渡の4～8（20）時間前に取引 をしなければならない。	➡	365日24時間開場 翌日計画確定後から実受渡の1時間前まで 取引可能
取引単位	1MW/30分	➡	0.1MW/30分 調整の場として、より小ロット化する。

現行「4時間前市場」は、「1時間前市場」開設に伴い廃止

※ほか、手数料・決済方法等については、現行4時間前市場の方法を継続する予定

	売り 入札量	売り 最安値	買い 最高値	買い 入札量	最新 約定価格	平均 約定価格	
13:00~13:30	202.2	18.00	16.21	22.6	17.35	17.32	▲
13:30~14:00	0	-	17.66	2.3	-	-	
14:00~14:30	361.1	19.01	18.75	69.2	19.01	18.66	
14:30~14:30	16.0	15.32	10.00	113.8	15.00	14.25	
15:00~15:30	154.6	12.55	-	0	11.56	11.56	▼

連系線空き容量を表示
(全連系線の空き容量を表示し、取引の一助として利用可能とする)

4月23日14:00~14:30

売り	価格	買い
136.4	以上	
100.0	23.32	
23.3	20.00	
45.8	19.55	
55.6	19.01	
	18.75	3.2
	18.56	51.2
	18.00	2.3
	15.44	0.1
	以下	12.4

約定価格は先に入札した価格、
この場合19.01
円となる。

入札

買い

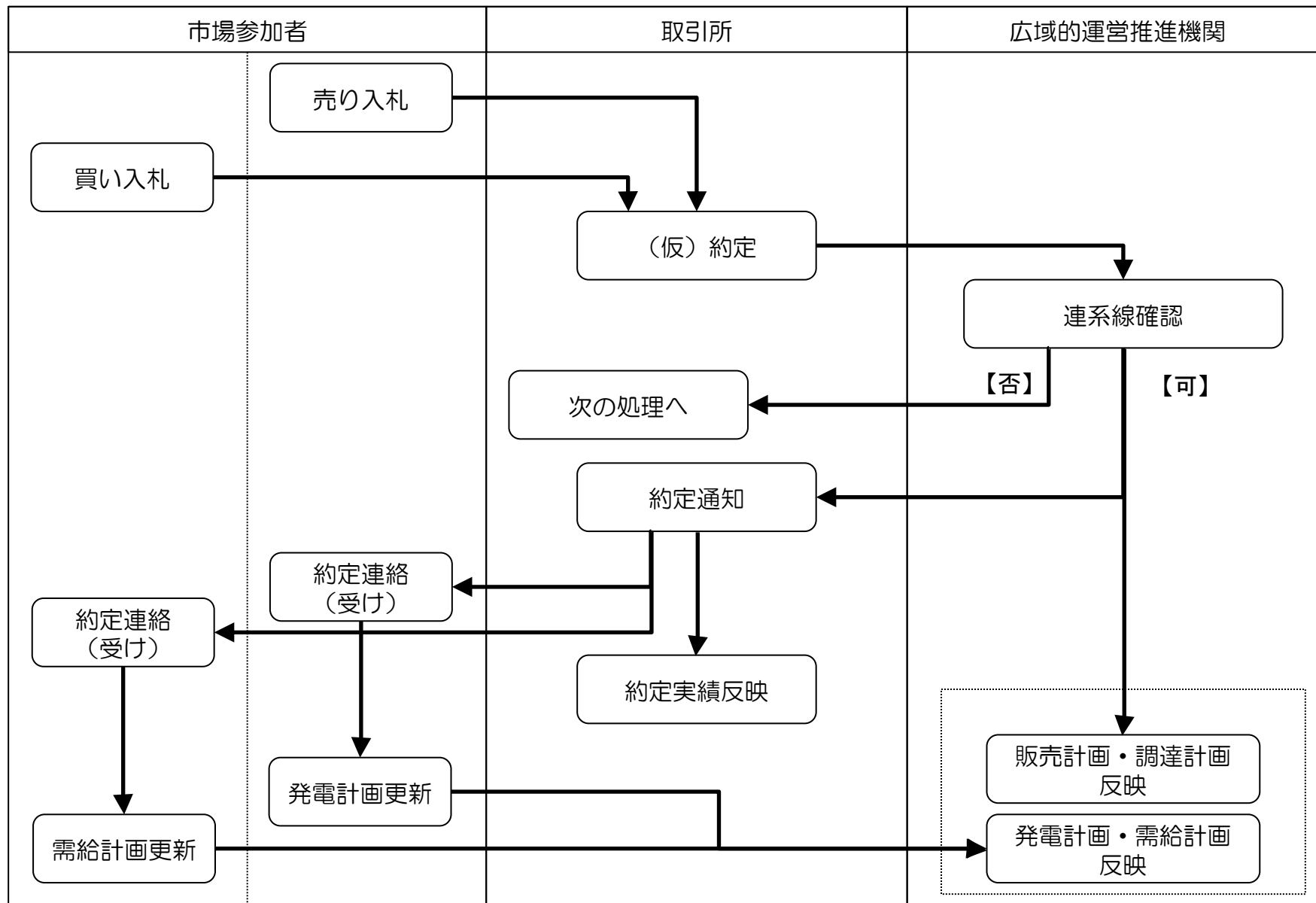
東京 エリア ●●BG

14:00~14:30 ~ 16:00~16:30

19.10 円/kWh 3.5 MW

複数の時間帯
をまとめて入
札することも
可能

30分毎（商品毎）に【場】がある。
必要な【場】を上の一覧から選んで
表示する。



日本卸電力取引所では、1時間前市場開設に向けたルール作り、システム開発等の他に以下の施策を実施する。

バックアップセンターの設置

1時間前市場は、365日24時間開設するため、災害時等の復旧にかかる時間の短縮化が求められる。おおよそ30分以内のシステム切替を目標にバックアップセンターを設置することとした（平成27年5月運用開始予定）

市場監視システムの強化

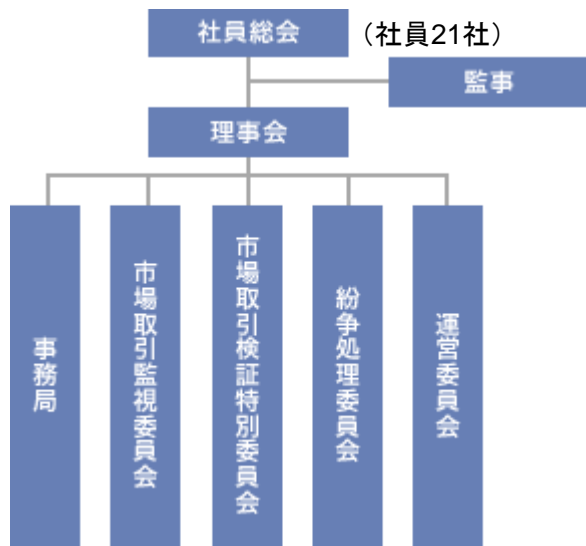
1時間前市場はザラバ取引で行われるため、よりリアルタイムでの監視を強化する。市場監視の効率化・高度化を目的に、各国の多くの取引所・規制機関で利用されている市場監視ソフトウェアを評価のうえ、これまでの市場監視システムに追加する。

スポット市場の土日開場

1時間前市場の365日24時間開設に伴うスポット市場の土日の開場については、今後の検討課題とする。

名称: 一般社団法人 日本卸電力取引所
 (Japan Electric Power Exchange 略称:JEPX)
設立: 平成15年11月28日(平成17年4月1日より取引開始)
所在地: 東京都港区芝浦一丁目7番14号岡家寿ビル4階
理事長: 村上 堯
理事: 6名(うち3名は中立者)
監事: 4名(うち2名は中立者)
職員: 6名(全員プロパー職員)
損益状況: 事業収益1,952百万円
 純利益1,179百万円(H25年度決算)

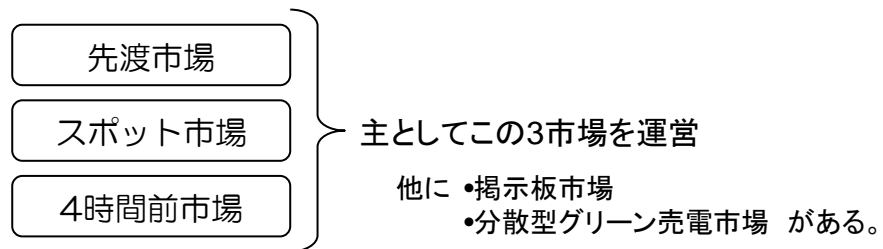
組織構成



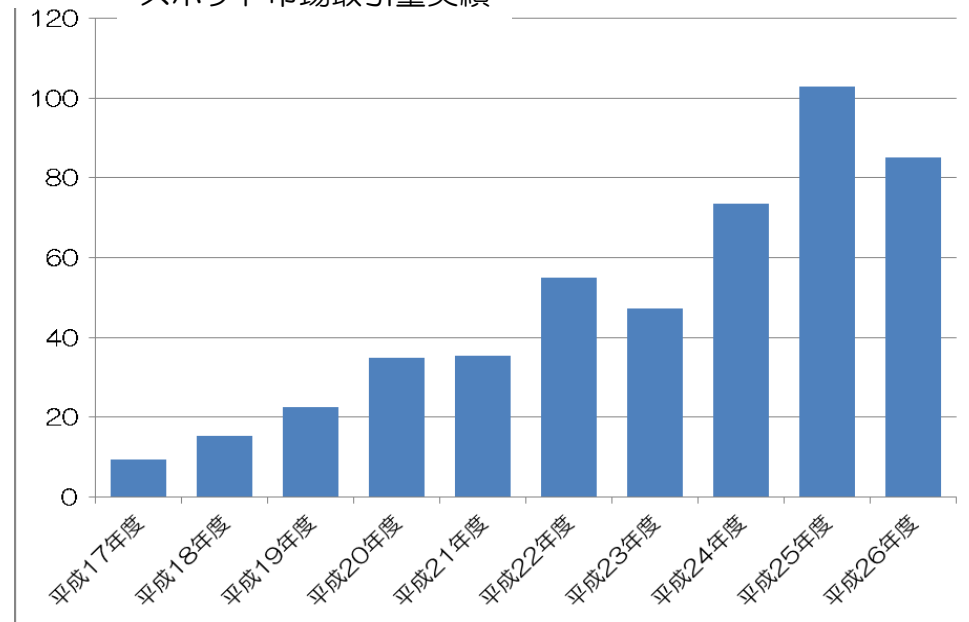
取引の状況

取引会員数: 92社(平成26年11月27日現在)

(内訳) 一般電気事業者 9社
 卸・発電事業者 21社
 新電力 62社



（億kWh） スポット市場取引量実績



(平成26年度は11月27日受渡分まで)

- 取引所市場の約定処理は、「ザラバ方式」と「オークション方式」に大別される。
- ザラバ方式は自社の都合に合わせた量と価格の調整に優れ、オークション方式は価格指標の形成、メリットオーダーの追求に優れる。

ザラバ方式

オークション方式 (板寄せ方式)

概要

● 価格優先・時刻優先で、個別の入札を付け合せ 随時取引を成立させる方式

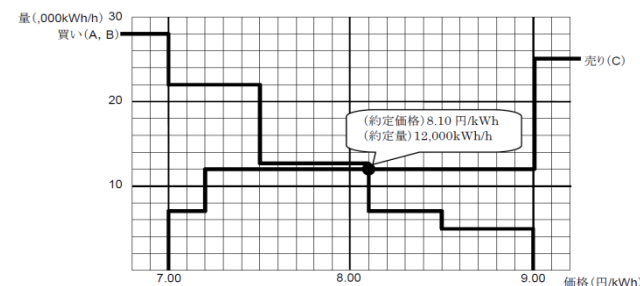
- ✓ 市場参加者は、その時々の入札状況が反映される「板」を見ながら、価格や量を調整して入札を行う
- ✓ 同じ商品であっても、入札時の状況によって取引価格は変動しうる(より良い条件で取引を行うためには、常に板の状況を観察することが必要)

売り	価格	買い
	8.88	
24	8.58	
43	8.30	
20	8.00	
	7.88	34
	7.35	2
	7.34	
	7.05	11

← 30@8.50 A社 □エリア

● 締切までの入札を付け合せ、売り買いが均衡する量と価格で取引を成立させる方式

- ✓ 市場参加者は他の参加者の入札状況は分からず、締め切り後の発表まで、落札できたかがわからない
- ✓ 一般的には、各商品につき一つの価格が適用される(ただし、市場によっては、入札価格に基づき複数の取引価格が適用される場合もある)



採用している市場の例

- JEPXの先渡定型取引、先渡市場取引
- 証券株式市場(市場の開始時・終了時は板寄せ方式で実施)
- 東京商品取引所
- 諸外国の当日市場(Intra-day market) 等

- JEPXのスポット市場、時間前市場
- 諸外国の前日市場(Day-ahead market)
- 大阪堂島商品取引所 等

適する市場の特徴 (電力の場合)

● 短期売買を必要とする市場に適する

- ✓ 結果がすぐに分かり、また約定に必要となる価格気配がわかるため、短期での取引の柔軟性に優れる

● メリットオーダーの追求や、公正な価格指標の形成を重視する市場に適する

- ✓ 入札のタイミングに約定価格・量が左右されない
- ✓ (原則として)商品毎に1つの価格が形成されるため、指標性に優れる